

66

# まつ やま じょう しゅう へん けい かん せい び 松山城周辺景観整備

▶ 山形県松山町



## データボード<sup>66</sup>

- ① 山形県松山町内町
- ② 延長389m、幅員5.5～7 m
- ③ 石積み擁壁、白塀のガードレール
- ④ 自然石
- ⑤ まつやま祭り(5月)、松山能(5月、8月)

松山町は、庄内藩の支藩二万五千石の城下町であり、緑豊かな歴史と文化の薫る町として発展してきた。

この特色をいかして、町のメイנסトリートの町道外山越線を松山城門の周景に合わせて景観整備を行い、コンクリート擁壁を自然石の石積みに、防護柵を白塀に変え、そして歩車道分離に水辺、緑地帯を設け、天然記念物であるきの子杉を移植している。

また、住民の積極的参加により「花いっぱい運動」が展開され、沿道には周辺の観光施設への道しるべとして四季折々の花が植えられている。